

# 半導体関連人材育成施設について

---

公益財団法人 いわて産業振興センター

- ▶ 半導体関連産業の集積による人材ニーズの高まり
- ▶ 半導体関連企業の国内投資が更に加速する見通し
- ▶ 立地企業の技術者の高齢化と中間人材の不足
- ▶ ものづくり人材の先細り感と人材確保競争の激化

いわて半導体関連産業集積促進協議会（I-SEP）のデバイスメーカー3社が中心となって、人材の育成・確保について方向性を議論

集積が進む半導体製造工場を支える半導体製造装置エンジニアの育成が急務



半導体製造装置を備え実践的技術を習得できる  
半導体関連人材育成施設を整備することで合意



本県の半導体関連産業の特徴に適した、本県ならではの産学官連携による取組により日本の半導体産業をリード

- (1) 予算名称 半導体関連人材育成施設整備事業費補助
- (2) 予算額 398,971千円  
※うち199,485千円はデジタル田園都市国家構想交付金の措置あり
- (3) 事業実施主体 公益財団法人いわて産業振興センター
- (4) 補助対象経費 施設整備費・半導体製造装置整備費 等
- (5) 施設整備場所 北部産業業務団地内（北上市村崎野）

## 整備・運営スキーム

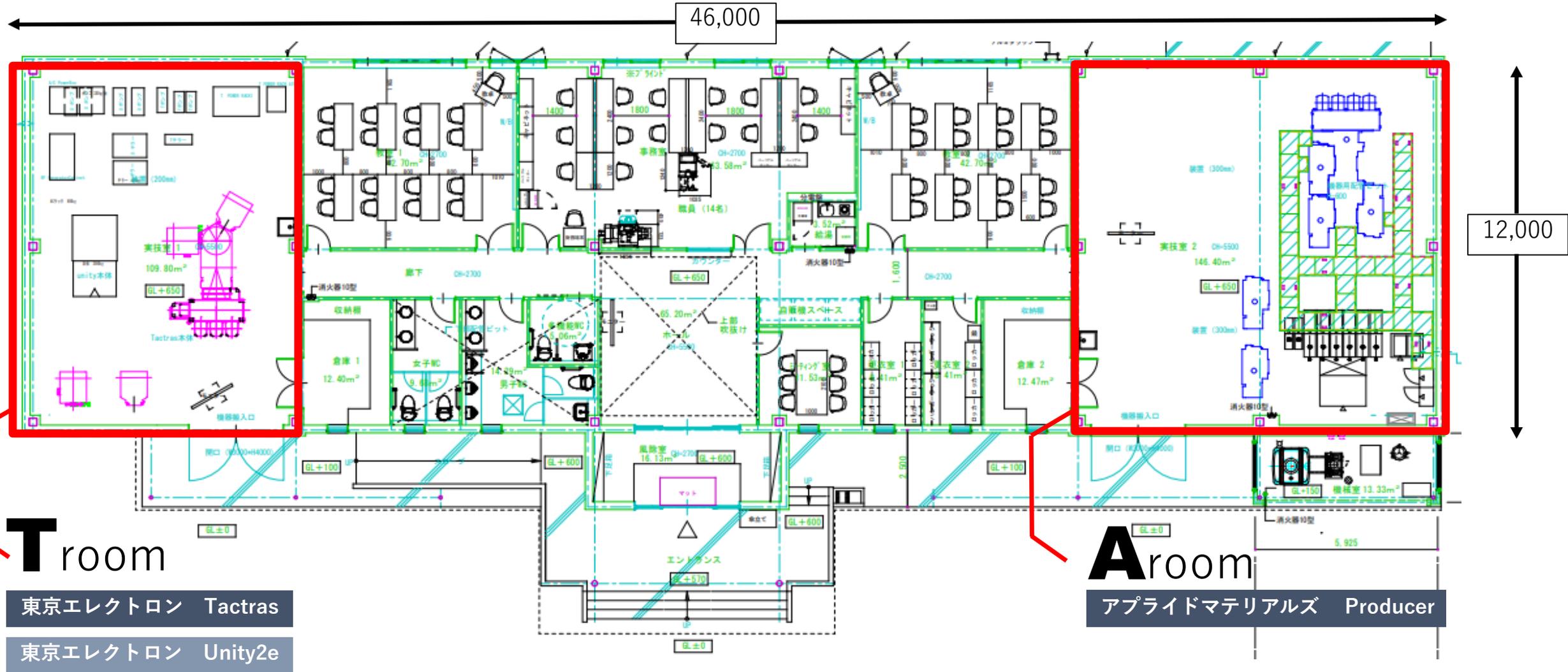




北部産業業務団地の土地(約5,000m<sup>2</sup>)を北上市から無償貸与



# 平面図



複数企業が使用できるように実技室を2室設置

	300mm		200mm
	Producer-XP	Tactras-NV	Unity2e
メーカー	AMAT	TEL	TEL
分類	CVD	エッチング	エッチング
入手方法	寄附（物納）	寄附（物納）	購入（入札）
使用環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通電あり</li> <li>・N2ガス使用</li> <li>・薬液は使用せず、水で代用</li> <li>・冷却用に市水を使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通電あり</li> <li>・N2ガス使用</li> <li>・薬液は使用せず、水で代用</li> <li>・冷却用に市水を使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通電あり</li> <li>・N2ガス使用</li> <li>・薬液は使用せず、水で代用</li> <li>・冷却用に市水を使用</li> </ul>
外観			

\* 全装置一般エリア(非クリーンルーム)へ設置

半導体関連企業の従業員教育を基軸として、  
次世代のものづくり人材の育成・情報発信を担う

高度専門人材の育成

半導体製造企業在職者、地場企業（新規参入）等



半導体製造装置  
エンジニア育成

若年層等への興味喚起

子ども達等幅広い層が半導体に  
触れる機会を提供



次世代  
人材育成

体験型  
魅力発信

大学生・高専生等の教育

いわて半導体アカデミー等  
を通じた次世代人材への教育



## ▶ 初級者共通プログラム（施設提供）

- ☞ 共通プログラムを構築して半導体関連企業へ提供  
※修了認定の実施を検討

## ▶ オーダーメイドプログラム（施設提供）

- ☞ 地場企業新規参入研修や、半導体関連企業の要望に基づいたオーダーメイド研修を提供

## ▶ 自社専門教育プログラム（各社実施）

- ☞ 施設を半導体関連企業へ貸し出し、各社が独自研修を実施  
※研修実施機関が施設を借りて、有料プログラムを実施することも可能

# 初級者共通プログラム（案）

・ 入門コース（5日間）、初級者コース（13日間） の2コースで毎月開催を想定。

・ 両コースの共通条件は下記のとおり。

<タクトラス・ユニティ活用を想定>

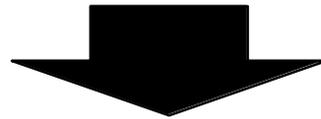
## 1. 入門コース（5日間）

- ①一般的な技術教育（工具の使い方・電気・機械）・・・2日間 教室  
➢座学及び教材利用などで教育を行う
- ②半導体基礎知識・・・1日間 教室  
➢座学
- ③半導体の洗浄・交換作業・・・2日間 200mm装置  
➢1チャンバー4名で作業を行う

## 2. 初級者コース（13日間）

- ①電気・機械保全教育・・・5日間 教室  
➢現在実施している「ポリテクセンター」での講座を施設で行うことを想定
- ②半導体に関する品質・ガス・薬品講座・・・1日間 教室  
➢座学
- ③SEAJ安全教育・・・2日間 教室  
➢現在実施している「SEAJ」に依頼する講座を想定
- ④メンテナンス作業教育・・・5日間 200mm装置  
➢SMC空圧キットも活用する

- ▶ 半導体製造工場の集積が進む本県の特徴と共通の課題
- ▶ I-SEPを通じた産学官連携による課題共有と方策検討
- ▶ 産学官連携による運営で高度専門エンジニアの育成・確保



本県の半導体関連産業の特徴に適した、**本県ならではの産学官連携**による取組により**日本の半導体産業をリード**

半導体関連産業の更なる集積と高度化を支援し、  
**人口減少対策 地域経済の持続的発展** に寄与

**2025年春 オープン予定**